



施設栽培の灰色かび病防除対策について

施設栽培での灰色かび病の発生は、例年2~3月に増加し始めますが、暖冬等の影響で気温が高い場合や曇雨天が多い場合は、平年より早い時期から発生する傾向があります。

気象庁の3か月予報では、気温が高い確率が60%と暖冬が予想され、発生時期が早まると予想されますので、**予防に努める**とともに、施設内をよく観察し、発病の**早期発見と発病初期の防除を徹底**してください。



←写真1 トマト果実の病徴
写真2 キュウリ果実の病徴→
(写真 茨城県病害虫防除所)



防除のポイント

耕種的防除・物理的防除

- 1) 適宜に整枝、剪定を行い採光や通風を確保し、適度な灌水や追肥を行うなど、適切な管理に努めてください。
- 2) 灰色かび病は、花弁の落ちが悪いと、果実での発病を助長しますので、出来るだけ枯花を取り除きます。
- 3) 被害葉や果実などは見つけ次第摘除し、施設外へ持ち出して腐熟化させるなど**適切に処分**してください。
- 4) 昼近くになっても、作物に水滴が残るような場合には、暖房や送風、換気等により**施設内の湿度をできるだけ低くする**よう努めてください。
- 5) UVカットフィルムを使用すると、灰色かび病の孢子形成が抑制されます。

化学的防除

- 1) 薬剤散布は、晴れた日を選び夕方までには薬液が乾くような時間帯に散布します。
- 2) 湿度の高い施設では、「くん煙剤」による散布なども活用しましょう。
- 3) 灰色かび病は**有効な薬剤に対して耐性菌が出現しやすい**ため、**薬剤散布後は常に防除効果を確認しながら分類の異なる薬剤でローテーション散布を行って下さい。**

表1 トマトまたはミニトマト灰色かび病の主な防除薬剤

(令和6年1月12日現在)

対象作物 薬剤名	ト マ ト		ミニ ト マ ト		分類
	希釈倍率	使用時期/使用回数	希釈倍率	使用時期/使用回数	
ゲッター水和剤	1,000~1,500倍	収穫前日まで/5回以内	1,500倍	収穫前日まで/3回以内	1と10
ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000~3,000倍	収穫前日まで/3回以内	2,000~3,000倍	収穫前日まで/3回以内	11
フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫前日まで/4回以内	2,000~3,000倍	収穫前日まで/4回以内	9
セイビアフロアブル20	1,000~1,500倍	収穫前日まで/3回以内	1,000~1,500倍	収穫前日まで/3回以内	12
パレード20フロアブル	2,000~4,000倍	収穫前日まで/3回以内	2,000~4,000倍	収穫前日まで/3回以内	7
ベルコートフロアブル	2,000~4,000倍	収穫前日まで/3回以内	4,000倍	収穫前日まで/2回以内	M7
ロブラールくん煙剤	くん煙室容積300~400㎡当たり100g	収穫前日まで/3回以内	くん煙室容積300~400㎡当たり100g	収穫前日まで/3回以内	2

注) 表1、2、3の分類欄には、FRACコードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 ピーマン灰色かび病の主な防除薬剤

(令和6年1月12日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
パレード20フロアブル	2,000~4,000倍	収穫前日まで/3回以内	7
スマレックス水和剤	1,000~2,000倍	収穫前日まで/5回以内	2
セイビアフロアブル20	1,000倍	収穫前日まで/3回以内	12
シグナムWDG	2,000倍	収穫前日まで/2回以内	7と11

このほか野菜類で、暖房機(ダクト内投入)を活用して防除を行う**微生物農薬(ポトキラー水和剤:発病前~発病初期の使用:分類BM2)**があります。

表3 キュウリ、イチゴ灰色かび病の主な防除薬剤

(令和6年1月12日現在)

薬剤名	対象作物		希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
	キュウリ	イチゴ			
カンタスドライフロアブル	○	○	1,000~1,500倍	収穫前日まで/3回以内	7
サンヨール		○	500倍	収穫前日まで/6回以内	M1
ゲッター水和剤	○		1,500倍	収穫前日まで/5回以内	1と10
ジャストミート顆粒水和剤	○	○	2,000~3,000倍	収穫前日まで/3回以内	12と17
セイビアフロアブル20	○	○	1,000~1,500倍	収穫前日まで/3回以内	12
ファンタジスタ顆粒水和剤	○	○	2,000~3,000倍	収穫前日まで/3回以内	11
フルピカフロアブル			2,000~3,000倍	収穫前日まで/4回以内※1	9
フルピカくん煙剤	○	○	くん煙室容積500立方m当り50g		
ベルコートフロアブル	○	○	2,000倍	収穫前日まで/7回以内※2	M7

イチゴは
※1:3回以内
※2:5回以内

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。